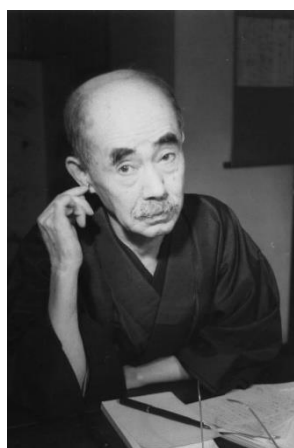


第2回美博文化講座へのおさそい (柳田國男記念伊那民俗学研究所共催事業)

柳田学と後藤民俗思想史をつなぐ — 『信州随筆』と『遠山物語』を中心に—

柳田国男の『信州随筆』は実にユニークな著作です。一方、後藤総一郎の『遠山物語』は、自身の故郷に目を注ぐことで柳田を継ごうとした名著です。両書を比べ読み解くことで、地域における学習活動のこれからを探ります。



柳田国男

(1875-1962)
兵庫県生まれ。明治34年に元飯田藩士柳田家に養子入りする。日本民俗学を創始した。



後藤総一郎

(1933-2003)
旧南信濃村生まれ。政治思想史を専攻。元明治大学教授。各地で常民大学を主宰し、「生活者の学び」を構築した。

令和3年5月16日(日) 午後1時30分～3時

講師 : 小田 富英 (『柳田國男全集』編集委員・日本地名研究所『地名と風土』編集長)
会場 : 飯田市美術博物館講堂
定員 : 先着50名
受講料 : 無料
主催 : 飯田市美術博物館
申込方法 : お電話 (0265-22-8118) にてお申し込みください
お申し込みの際には、1) 希望する講座名、2) 氏名、3) 電話番号、4) 住所 をお知らせください
○申し込み受付期間 : 5月2日(日)～15日(土) 9時30分～17時
○FAX、メールでの受付はできません
○キャンセルのご連絡はお早めをお願いいたします

●今後の新型コロナウイルスの感染状況により、急遽内容変更または中止となる可能性もありますので、ホームページ等で最新の情報をお確かめください。

●同時事業のお知らせ

講演後、柳田國男館において、伊那民俗学研究所会員による研究発表が開催されます。講座・研究発表の様子は研究所のYouTubeチャンネルで配信します。詳細は研究所HPをご覧ください。